

沖縄登山記録

2024/2/1

・日 時 2024年1月25日(木)羽田空港第2ターミナルC 6:00 集合、28日(日)21:20 成田空港解散

・参加者 小野さん、須崎さん、塚原さん、中野さん、藤沢さん、若林さん、室岡、計7名

・タイム(概略)

1/25 羽田空港 6:00/50 発ソラシドエアーSNA021、那覇空港:10:05/11:00 発 117 番高速バス、名護バスターミナル着 12:40、そば屋こすぎ(昼食)12:50/13:20、名護バスターミナル 13:30 発 67 番 辺土名バスターミナル行、辺土名15:50、民宿いずみ屋 6:00/16:20、道の駅ゆいゆい国頭^{くわがみ} 17:30/40、びすところ海畑、M?(夕食)18:00/19:00、民宿いずみ屋 19:10、約 12,000 歩、8km (行き方の例、リムジンバス; 八王子 4:32、高速日野 4:45、羽田第2ターミナル 5:30)

1/26 民宿いずみ屋発 8:00、与那覇岳入口 8:20/8:30、与那覇岳 10:00/10、与那覇岳入口 11:30、道の駅 13:30(昼食)/14:30、民宿 14:50、辺土名バスターミナル 15:10/15:30 発 67 番名護行、名護バスターミナル 16:25、フェニックスパークホテル 16:35/17:30、創作料理「蔵」17:40/19:20(夕食)、ホテルフェニックスパーク 19:30 着 約 24,000 歩 16km

1/27 ホテル 7:00 発、名護バスターミナル 7:10/30 発 65 番本部線、今帰仁城跡入口 8:26、今帰仁城跡 9:00/45 発、今帰仁城跡入口 10:10/13 発名護バスターミナル行、名護十字路 10:40、市営市場 10:50/11:30(昼食)、名護城神社 12:00、広場 13:10/30、名護岳頂上 14:20/30、林道 5:00、駐車場 15:40/45、名護港 16:00、スーパーかねひで 17:30/18:00、ホテル 18:10/20、酒処ゆきの 18:30/19:20(夕食)、ホテル 19:30 約 25,500 歩 17km

1/28 ホテル 7:00、名護バスターミナル 7:10/20 発 77 番名護東線、石川少年自然の家入口 8:32、石川少年自然の家 8:50/9:00、石川岳 9:50/10:00、石川少年自然の家 10:30/40、石川 IC バス停 11:00/10 発 111 番高速バス、幸地 11:40、てだこ浦西駅 11:45/12:00、牧志駅 12:25、公設市場 13:00/50(昼食)、壺屋 14:20/50、御菓子御殿 15:30/16:30、県庁前駅 17:00/10、那覇空港 17:30/18:55 発スカイジェット GK306、成田空港 21:20 約 21,000 歩 14km

・概 要

1/25 羽田空港第2ターミナルC 6:05 に全員集合した。チェックインは往復ともオンラインで小野さんが前日までに済ませチケットを印刷してくれた。検査 6:30 では重量検査はなく、69 番ゲートからバスで空港端まで移動した。バスから日の出が、機内からは富士山がよく見えた。那覇空港にはほぼ時刻通りに着陸した。気温 16°C曇り。荷物受け取り等を済ませ 117 番高速バス 沖縄美ら海水族館行きに②番乗り場から乗った。高速バスは 2 通りあり、117 番は沖縄美ら海水族館行き、111 番は名護バスターミナル行きである。乗客の少ないバスは順調に走り名護バスターミナルにはほぼ定刻に着いた。ターミナル近くの小さな店「こすぎ」?で昼食をとったが、大人数は不慣れらしく「時間がかかる」と言われたが、料理内容、時間ともまあまあだった。

名護バスターミナルから辺土名バスターミナル行きのバスは定刻通りに出発し、辺土名バス停に定刻通りに着いた。バス停から5分程の所の宿では準備ができておらず、女主人のお婆さんが慌てて準備を始めたが連絡がとれないため我々は一室に荷物を入れて夕食がてら一旦外出した。まず宿の近くの港に行った後、海岸沿いに歩いたが、小さな砂丘には棘葉とパイナップル実のアダゲが密集し沖縄らしい景色だった。海岸から農道に入り、村はずれの道の駅で朝食を買い、土産物を見て村に引き返して夕食処を探した。村の食堂は突然の7人の東京人に腰が引けたようで、沖縄時間と「テーゲー」をここで実感することになった。夕食は、びすところ海畑、M?の2店に4名、3名に分かれた。民宿では家族総出で準備の最中で、男主人が陳謝し宿のカラオケルームを2次会に提供してくれた。この日、約9,000歩、6km歩いた。

1/26 宿 8:00 発。気温 16℃曇。男主人の計らいでタクシーを呼び 2 台の車に乗り 20 分で与那覇岳入口に着いた。タクシー料金は 1,600 円と安かった。謝礼 1,000 円は不要のようだった。登山道は、車道跡らしい道(トロッコ道かも)を 1 時間ほど進み、篠竹が覆うように迫る本格的な登山道を急登した後、尾根道を辿って頂上に着いた。道標は板きれだけで展望のきかない頂上だった。帰りも登りと同じ道を約 1.5 時間で引き返した。帰りに雨傘を持った夫婦と単独の男性の 3 人に出会っただけだった。車道に出てから亜熱帯植物が茂る中を 1 時間程下って森林公園の中に入り椿並木の遊歩道を歩いた。車道に出てレストランを当たったが手頃な店がなく、タイガーナッツの農場横を通り 1 時間程下って昨日訪れた道の駅に着いた。ここで遅い昼食をとりバスに乗って宿に着いた。置いた荷物をとって女主人に挨拶し、村はずれの辺土名バスターミナルで名護行きバスに乗った。乗客は我々だけだった。ホテルには 17:30 頃に着いた。着替え等の後、バスターミナル近くの、沖縄創作料理「蔵」?で夕食をとり、宿に戻って 21:00 過ぎから 2 次会を開いた。この日、約 24,000 歩、16km 歩いた。

1/27 ホテル 7:10 発。16℃曇り。冬型が強いとき沖縄は曇りになるらしい。名護バスターミナルから屋我地島との間に広がる景色のよい入江の海岸沿いに小さい古民家が佇む村々を抜け、ほぼ 1 時間で今帰仁城跡入口に着いた。バス停から登城のための道を 30 分ほど上って今帰仁城に出た。城跡は石灰岩を積み重ねた巨大な石組みの壁がその広い外郭を取り囲み、桜が城内に植えられていた。五分咲きとのことだったが桜祭り(1/20~28)に週末が重なり沢山の人が出ている。城内のコースを一巡してバス停に戻った。バスは来た道に戻ったが、我々は名護十字路で下車した後、十字路にある市営の公設市場を見学し、2階のさくら食堂で沖縄そばなど早めの昼食をとった。ほぼ満席だった。

公設市場を出た後、川に沿って桜の咲く遊歩道を名護神社向かい、石の階段を数百段上って神社に着いた。この日、名護桜祭りの初日とのことで屋台が出、催しがあり、多くの人が神社に参拝していた。神社の奥社に登ってからは道がなくなり、国土地理院地図にある車道跡らしい地形を頼りに獣道をたどり、篠竹をかき分けて登ること 30 分程で車道に出ることができた。車道を 10 分程歩き展望台広場に出て登山案内板の近くで休憩した。

乾燥してやせた土壌のためか尾根道の周囲には沖縄松、シイなどが篠竹の上に疎らに茂り、細い道を登り続けて 1 つの山に出た後、隣にそびえる名護岳(345m)頂上に着いた。頂上は直径 30m 程の円い丘になっており、曇空ながら南東の方向に話題の辺野古湾、西に名護市内、北に湖のような羽地内海が見渡せた。下山道は急な下りが続き、ロープと木の根を頼りに慎重に下った。登山中に東南アジア系の家族 4 人、山頂で米国人?家族 8 人、下った車道で単独行の女性と出会った。土曜日のためかもしれないが、ここは人気の山とみえる。

車もたまに通る車道を桜の花や木性シダなどを眺め、展望台を通り 40 分程で駐車場の広場に着いた。ここで桜祭りのために無料の送迎バスが出るので便乗して名護港に着いた。下山後、翌日の昼食や 2 次会の食料を買うためにスーパーを探し、歩行者天国の中心街、名護中学校前、大きな亀甲墓の連なる墓地の下などを通り名護市郊外のスーパー「かねひで」まで 1 時間ほど歩いた。買物の後、隣のパチンコ屋で客待ちのタクシーに乗りホテルに 10 ほどで着いた。荷物を置きホテルを出て、昨夕の店の近くの「ゆきの」で夕食をとり 19:30 頃に帰り、20:00 から 2 次会を開いた。この日、約 26,000 歩、17km 歩いた。

1/28 ホテル 7:00 発。16℃曇り。名護バスターミナルから名護東線に乗り 1 時間程で石川少年自然の家入口バス停に着いた。途中、辺野古、キャンプシュワブでは物々しい情景があった。バス

停から住宅地を20分程上って石川少年自然の家に着いた。この施設は県営で石川岳周辺も含めて管理され、沖縄時間とは無縁のように思われた。登山は施設の奥から始まり、岩登りのような急傾斜があり「息切れの坂」などの案内板からして冒険遊び場のような感じだった。石川岳(203m)は登り約50分、下りに約30分かかったが、子供もわかるような道標が沢山あった。下山後は、金武湾に向けてなだらかに下る道を辿り、警察学校、住宅地を抜け、国道329号線に沿って石川ICバス停に着いた。111番高速バスが11:10にあり、これに乗り幸地バス停で降り、新興住宅地の終点「でだこ浦西駅」でモノレールに乗った。「でだこ」は太陽のこと。モノレール駅「牧志」で降りた後、国際通りで土産物を物色し、公設市場で肉や魚を見て2階に上がり昼食の場所を探した。食堂7店は休店もあったが13:30を回ってもほぼ満席の状態で、「きらく食堂」の前でしばらく待機してようやく昼食になった。

昼食後は、陶器博物館に入り壺屋の通りで陶器店を覗いた後、歩行者天国の国際通りを県庁前まで歩き、御菓子御殿で土産物を物色し2階で休憩した。小野さんが加わり藤沢さんと別れるので、ここで一旦解散とした。その後、県庁前駅でモノレールに乗り、すし詰め状態の中那覇空港に着いた。飛行機は25分遅れて18:55に出発したが、その前の検査で機内持ち込みの重量と体積の検査はキャリーバックのみだった。飛行機は順調に飛び、成田空港に21:20に着き、無事解散した。この日、約21,000歩、14km歩いた。

写真とコース

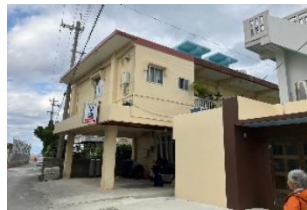
1/25



空港の夜明け



富士山



民宿いずみ屋



垣根のハイビスカス



辺土名港
(後ろは与那覇岳辺り)



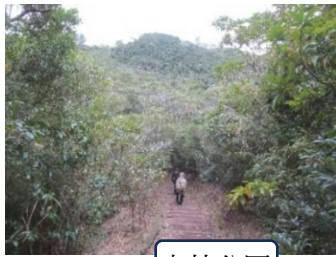
アダン



浜辺で



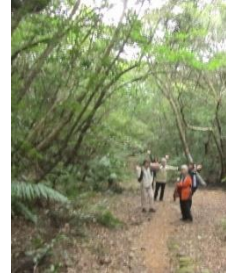
東シナ海



森林公園



与那覇岳入口



車道跡の道

道の駅



宿



モンステラ(左上)



マンギースの罾



モンステラ、くわず芋

与那覇岳



1/27 今帰仁城趾



ホテル



名護バスターミナル



北方向(伊是名島)





送迎バス



羽地内海



名護市街



クレマチス



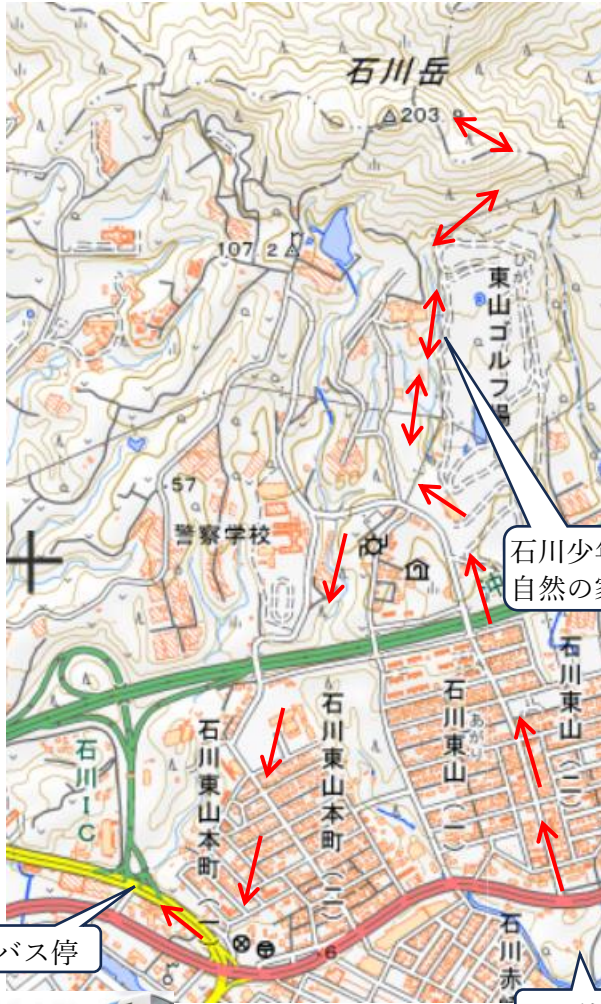
下山道



辺野古

1/27 石川岳

金武湾



バス停

石川少年自然の家

バス停



歩道のシーサー



ゴンズイ



アカバナコウカン



バス停で

でだこ浦西駅

